



SDGs 達成に向けた取組み

海洋ごみゼロを目指して



目的・背景

このままでは 2050 年には海洋ごみが魚の量を超えるかもしれません。漁業が盛んな南予では、海洋ごみとなった莫大な量の発泡スチロール製漁網ブイの処理が課題で、放置しておくともマイクロプラスチックになってしまうため、一刻も早い処理が求められていました。そこで減容機を導入し、愛南町と連携した効率の良い運搬、再資源化の実現をすることができました。また、海洋ごみは陸から流れ出ているものも多く、減らすためには一人ひとりの意識が大切になります。美しい海に面する地元愛媛で、未来を考えながら廃棄物のリサイクルや海洋ごみ問題に向き合ってきた私たちだからこそ伝えられることがあると思います、環境学習にも力を入れています。

具体的な取組内容

令和 6 年 4 月

まつやま Re・再来館にて 2 ヶ月間、事業や海洋ごみ問題についての展示をしました。来館されたみなさまが見るだけでなく参加できるように“海洋ごみを減らすために私たちにできること”を記入していただきました。

令和 6 年 7 月

日本財団主催、海と日本プロジェクト・瀬戸内オーシャンズ X「上陸困難海岸の漂着ごみ 巡回回収作戦」キックオフに参加しました。

令和 6 年 7 月

高浜児童クラブからのご依頼で、環境学習、廃材をアップサイクルしたキーホルダーづくりを行いました。オリジナルキーホルダーをつくるときにそれぞれテーマを決め、SDGs という文字や、きれいな海で泳ぐ生き物をデザインに入れる子どももいました。



キーホルダーづくり

令和 6 年 9 月

河原デザイン・アート専門学校にて講演をしました。1 年生は終了制作に、2 年生は卒業制作に海洋ごみや廃棄物の課題をテーマに取り入れるということで、真剣に話を聞いてくださりました。

令和 6 年 9 月

「えひめビーチクリーンスクール in 高浜」にて、講演をしました。また、廃材をアップサイクルしたキーホルダーづくりも親子で語り合いながら楽しんでいただくことができました。

令和 6 年 9 月

弊社、水 ing エンジニアリング株式会社四国営業所、河原デザイン・アート専門学校、愛媛 FC ユースの 4 団体、120 名で梅津寺海岸のビーチクリーンを行いました。190kg の海洋ごみを回収しました。

令和 6 年 10 月

興居島小学校 3、4 年生に出前授業を行いました。子どもたち

に“私たちにできること”を発表してもらい、これからの行動につながるように工夫しました。事前に近くの海で拾った海洋プラスチックごみをアップサイクルしてキーホルダーづくりも行いました。

令和 6 年 10 月

梅津寺海岸で実施された「スポ GOMI 甲子園 2024 愛媛県大会」に協賛し、参加した高校生に講演をしました。

令和 6 年 11 月

福音小学校の 4 年生に出前授業をしました。廃材をアップサイクルしたキーホルダーづくりもしました。

令和 6 年 11 月

「えひめビーチクリーンスクール in 明浜」にて講演をしました。また、廃材やビーチクリーンで集めた海洋プラスチックごみをアップサイクルしたキーホルダーづくりも、親子で語り合いながら楽しんでいただくことができました。

令和 6 年 11 月

新田高校 2 年生のグループワークで海洋ごみ問題を選択した生徒の見学を受け入れました。環境学習や廃棄物リサイクルの見学、廃材をアップサイクルしたキーホルダーづくりを行いました。



出前授業



アップサイクルキーホルダー

成 果

① 300 人近くに環境学習を行いました。

海洋ごみや廃材をアップサイクルするキーホルダーづくりでは、廃棄物が生まれ変わる様子を実際に見て触れて、子どもから大人まで楽しく学んでもらえました。アップサイクルしたキーホルダーを持ち物につけることで、友人や家族と海洋ごみや環境について話をするきっかけになり、多くの方々に伝わると嬉しいです。

担当者の思い

令和 6 年度は、今までの事業や活動から得た知識を愛媛県のみなさまに環境学習として伝える機会を多く持つことができました。SDGs の目標達成や明るい未来のためには、進化しながらみんなが一緒になってつないでいくことが大切だと感じているので、関わったみなさんの心が動くような工夫をしながら今後も活動していきたいです。〈広報・マーケティング部 武田 里桜〉

